

令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立岡野小学校

校長 杉本 克治

1 学校教育目標等

学ぶ喜びを実感させ、確かな学力と豊かな心をもった児童を育成する
～ わかる ふかめる 伝える 学び合う ～

2 今年度の重点目標

- (1) 新型コロナウイルスへの感染予防対策を徹底するとともに、学校施設の安全管理、登下校の安全対策の充実を図る。
- (2) 児童一人一人の個性や特性の理解に努め、児童が学ぶ喜びを実感できるよう、授業の工夫改善を図る。（わかる・ふかめる・伝える・学び合う）
- (3) 様々な方法により児童の内面理解に努め、いじめ等の問題行動を早期に発見し、保護者と連携しながら、真の解決を図る。
- (4) 地域素材や人材を活用してふるさと教育を推進し、郷土を愛する心を育てる。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全・安心な学校づくりの推進	新型コロナウイルスへの感染予防対策の徹底	B	・日々の検温、手洗い、マスクの着用の徹底が図れるよう、各学級及び児童全体へのきめ細かな指導を行い、ごく一部の児童を除いて、多くの児童が感染予防を意識した適切な行動ができています。 ・児童同士が注意し合ったり、励まし合ったりする姿が一部の学年で見られた。そのような様子が多くの学年で見られるよう、仲間づくりをしていく。
	学校の安全管理、登下校の安全対策の充実	B	・月1回の教職員による校内安全点検とともに、本年度も学校運営協議会委員による校内安全点検により、危険箇所の改善を図ることができた。
豊かな心の育成	問題行動への的確な対応	D	・6年生の児童数名が指導不服従、器物損壊、対教師暴力等、問題行動を繰り返し、6年生全体として落ち着いて学習に向かうことができない状態が続いた。児童の学習への困り感の把握、学校の決まりに対する徹底した指導等が十分にできていなかった。中学校の生徒指導にも学び、大きな改善を図っていく。 ・この1年間で児童同士の関係が良くなっていった学年もあり、良い部分は次年度へつなげていく。
	豊かな心を育む学習・活動の推進（地域素材や人材の活用）	A	・コロナ禍であったが、オオムラサキや黒豆に関する学習、国際理解や福祉教育に関する学習等、地域人材を活用した学習を進めることができた。 ・情報機器に関する使用の仕方について、講師を招いて学習する機会を持ち、児童が自分を守り、相手を大切にすることについて学ぶことができた。

学習指導の 充実	基礎基本の定着	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは90%以上の児童が「勉強はわかる」と答えている。 ・児童がわかる喜びを実感できるよう、授業の工夫を図り、年間を通じて朝のスキル学習を進めたが、基礎基本が全体として定着しているとは言えない。今後学習形態を工夫し、もっと個に寄り添った指導を進め基礎基本の定着を図る。
	ことばの力を培う学習指導	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は「ことばの力を培う学習指導」について研究を進め、特に「読む力」の育成に取り組んだ。全学年の系統性を持った研究を進め、講師を招いての研修も行ったが、多くの学年で授業研究を実施することはできていない。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・新型コロナウイルスの感染予防について、教職員だけでなく保護者からも評価されており、適切な予防の対策がとられていたと思う。
- ・6年生の生徒指導上の問題が大変気になるが、6年生が卒業すれば今の状況は良くなるのか不安に思う。
- ・全校終会の際、課題のある6年生児童が遅れてきているにもかかわらず、階段のところにとむろしたり、ふざけていたりしている。これらの行動がたいへん気になる。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の中での教育は、これまでと違った大変な日々であったと感じる。そうした中で子どもたちはよく頑張ったと思う。
- ・児童の自分自身への評価は甘いところがあるが、できていると答えていること（友達関係のこと）については十分に児童を評価してほしい。
- ・保護者アンケートを出していない保護者がいる。次年度は出さない保護者がいないようにしてほしい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
安全・安心な学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校自己評価で安全点検が高い評価が出ている。学校運営協議会委員の点検もあり、きめ細かな安全点検を行っていることはもっとアピールして良いと思う。 ・新型コロナウイルスの感染防止について、保護者から評価されており、今後も日々の感染防止対策にしっかり取り組んでほしい。
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度以降、どのように生徒指導上の課題を克服していくかが大切である。生徒指導上の課題を克服した学校はたくさんあるので、先進的な学校の例に学んで、長い目で良き伝統がつくられていくようにしてほしい。 ・児童のアンケートで「安全・安心に過ごせる学校になっているか」の質問に「安心できない」と答えている児童についてフォローしていくとのことだが、丁寧に見て行ってほしい。 ・自己肯定感の低い児童が多くいる。自分のことを大切にすることは、他の子も大切にすると思う。学校での授業や活動の中でしっかり認めていくとのことだが、今後、様々な取組により自己肯定感の高めて行ってほしい。家庭でもこのことは大事にしていくべきである。
学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教材の取組について、学校自己評価で良く取り組んでいるとの評価がされている。コロナ禍であっても感染症対策をとりながら継続してできたことは良い。来年度も引き続き取り組んでほしい。 ・学校自己評価で算数に関する項目の評価が高い。今年度の取組で成果があったことを次年度へしっかりつないでほしい。